



学校だより

11月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和5年10月31日

横浜市立神奈川小学校

主体性から生まれた大成功! 「スポフェス2023」

副校長 松村 博行

10月21日(土)、抜けるような秋晴れの下、「かなっ子スポーツフェスティバル 2023」が行われました。今年度は、4年ぶりに保護者の皆様の入場制限を行わずに実施することができ、多くの保護者・地域の皆様に、1日を通して、運動会全体の雰囲気や、「かなっ子」たちの輝いている姿をご覧いただけたことを職員一同大変うれしく思っています。当日は PTA 役員の皆様、おやじの会の皆様にも、運営面で多大なご協力をいただきました。改めて心より感謝申し上げます。

多くの皆様にご観戦をいただいた中、「かなっ子」たちは、朝の開会式から最後の閉会式に至るまで素晴らしい活躍を見せてくれました。生き生きと躍動する姿、最後まであきらめずにがんばる真剣な眼差し、達成感に満ち溢れた表情など、全てが最高に輝いていました。

各学年の演技も見どころ満載でした。元気いっぱいダンスで「のびのびの木への大冒険」を上手に表現した1年生。かわいらしさとたくましさの両方を兼ね備えたダンスで踊り切った2年生。1人跳び、ペア跳び、集団の動きなど、縄を使った様々な技を披露してくれた3年生。キレイのある大きな動きと威勢のよい掛け声で情熱的なよさこいを作り上げた4年生。指先までピタリとそろったバランス技と、息がぴったりの集団演技が最高にかっこよかった5年生。そして、手作りの法被とともに、「これぞ神奈川小の最高学年」といえる力強さと一体感が抜群のソーラン節を披露した6年生。



どの学年も、本番に向けて熱心に練習に取り組んだ成果を余すことなく発揮していて、思わず引き込まれてしまう演技ばかりでした。また、各ブロックの白熱した競技、高学年リレー選手たちのスピードに乗った走りで見事なバトンパス、開閉会式の代表の皆さんの素晴らしい話し方、応援リーダーの堂々とした立ち姿と力強い声も、スポフェスを大いに盛り上げました。一方、多くの名場面の裏では、5、6年生の実行委員さんたちが、用具係、得点係など、運動会を支える役割に責任をもって取り組んでいました。スポフェスを大成功に導いた「陰のヒーロー」ともいえる素晴らしい仕事ぶりでした。

スポフェス前の練習期間においても、本番に向けて「もっと高めたい!」という意志の元、進んで行動する子どもたちの姿が多く見られました。休み時間に進んで演技の練習をしている姿も多くの学年で目にしました。練習日以外にも毎日のように自主練習を行う応援リーダー、リレー選手の姿もありました。自由参加の応援練習の際も、1~6年生の多くの児童が体育館に集まり、体一杯を使って大声を張り上げていました。今回のスポフェスは、子どもたちがめあてをもって主体的に行動し、みんなで



作り上げたということにとっても大きな価値があったと感じています。12月のミュージックフェスティバルや今後の各学年の行事においても、児童自らが達成感を味わい、自己の成長を実感できるよう、子どもたちの主体性を大切にしながら支援してまいります。